

目次	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行	GRI スタンドダード対照表
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	国連グローバルコンパクト対照表

公正な事業慣行

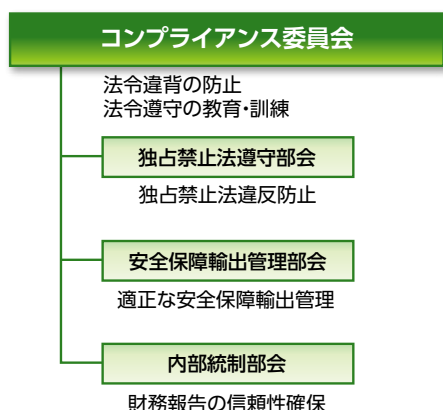
コンプライアンス	41
CSR 調達	42
公平・適切な情報発信	44

コンプライアンス

コンプライアンス体制

コンプライアンス委員会が、ゼオンのコンプライアンス活動を推進しています。コンプライアンス委員会には、独占禁止法遵守部会、安全保障輸出管理部会、内部統制部会の3つの下部組織があります。

ゼオンのリスクマネジメント・コンプライアンス体制図



コンプライアンス委員会

2020 年度の実績

- ・コンプライアンス意識の浸透・定着を図る活動の継続
- ・海外グループ企業のコンプライアンス意識向上支援
- ・公務員贈賄防止体制の構築

独占禁止法遵守部会

- ・事業部門における製品販売価格改定に際して事前審査を行い、競争会社の役職員と面談する場合の事前審査や業界団体への出席調査を実施

安全保障輸出管理部会

- ・一般社員向け講習会および各部署担当者向け講習会を実施
- ・リスト規制該当判定や取引審査の最終判定を多数実施

内部統制部会

- ・連結決算を誤るリスクを抽出しリスク防止のための統制を構築。その統制が正しく機能しているかの評価を実施
- ・2020 年度は 5 回開催し、非有効な統制は確認されませんでした

内部通報制度

ゼオンでは、潜在的なリスク情報を早期に収集して対処を容易にするために、内部通報制度を整備しています。
(内部通報制度の詳細は「リスクマネジメント」に掲載)

内部監査

内部監査は、業務上の不正や誤謬の防止を図ることを目的として行われます。

監査室は、各部署が法令や社規等に基づいて適法かつ効率的に業務を遂行しているかを点検・評価し、違反・不遵守事項等があった場合、改善を要請します。また、監査室は、各部署の対策の実施状況について定期的にフォローアップ監査を実施します。

2020 年度実績：33 部署（日本ゼオン 16 部署、国内グループ企業 11 社、海外グループ企業 6 社）

2021 年度計画：34 部署（日本ゼオン 13 部署、国内グループ企業 8 社、海外グループ企業 13 社）

情報セキュリティ監査

情報セキュリティ監査は、情報資産の取り扱いに関する内部監査です。ゼオンの各部門・部署に対し、自主診断形式で実施しています。

目次	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行	GRI スタンダード対照表
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	国連グローバルコンパクト対照表

CSR 調達

ゼオンは、安全・安心な製品を提供するため、「CSR 基本方針」および「CSR 行動指針」に基づいた原材料調達を行っています。

調達に関する方針

調達に関する方針は以下の通りです。

2012 年度以降は「CSR 調達」の取り組みを整備。従来の QCD[※]に CSR の視点を取り入れた「CSR 調達ガイドライン」「お取引先さまへのお願い」を策定しました。

※ QCD
品質（Quality）、価格（Cost）、納期（Delivery）を管理・改善する生産管理の仕組み

CSR調達ガイドライン

1. CSR 調達

私たちは、CSR基本方針にもとづいた調達活動を推進します。

2. 最適な原材料・製商品・サービスの調達

私たちは、よりよい製品を提供するため、品質・価格・納期・供給安定性・技術開発力を満たした最適な原材料・製商品・サービスの調達に努めます。

3. 地球環境への配慮

私たちは、地球環境への負荷がより少ない原材料・製商品の調達に努めます。

4. 開かれた購買姿勢とパートナーシップ

私たちは、お取引先さまをグローバルな視点で広く世界に求め、対話を通じてパートナーシップを構築し、公正・公平な取引機会の実現に努めます。

お取引先さまへのお願い

1. 企業倫理を守り、コンプライアンスの徹底をお願いいたします。
2. 人権を尊重し、労働環境に対する配慮をお願いいたします。
3. 環境に配慮し、安全性が確保された原材料・製商品・サービスの提供をお願いいたします。
4. 競争力のある品質・価格を有する原材料・製商品・サービスの提供、及び合意した納期の遵守をお願いいたします。
5. パートナーシップ構築にあたり積極的な情報提供をお願いいたします。また取引を通じて当社が開示した情報については厳密な管理をお願いいたします。当社も同様の管理をお約束いたします。

調達に関する取り組み

近年、顧客や取引先、ESG 投資関連の調査機関等からのサステナブル調達に関する問い合わせに対して、ゼオングループとして統一した対応ができるように、情報の共有と CSR の浸透に取り組んできました。当社事業所における原料購入に際しては、日本における化学物質に関する法令（化審法・安衛法・PRTR 法など）の要求に適合していることを chemSHERPA などを活用して確認しています。この活動は単に当社が法令順守を確実にすることにとどまらず、当社製品を購入されるお客様が、各種法令（RoHS 指令、EU-REACH・CLP 規制、UK-REACH 規制、K-REACH 規制、TSCA など）を順守するために行う化学物質に関する情報開示の活動にも寄与しています。

さらにサプライチェーンにおいても同様の対応を展開しており、2013 年に実施した CSR 調達に関するアンケート調査を更新し 2019 年度に主要な取引先に対して下記の通りに CSR 調達アンケートを実施して、CSR 評価を行いました。

お取引先さまの CSR 評価

当社は、持続可能なサプライチェーンの構築を目的に、お取引先さまとともに CSR 調達の推進に取り組んでいます。その一環として、2019 年から主要なお取引先さまの CSR 調達への取り組み度合いに関する「CSR 調達セルフアセスメント」調査を開始しました。調査の結果、一定水準に満たないお取引様とはオンラインによる面談を実施し、CSR 調査の理解促進と CSR 対応の改善を促す対話を実施しました。この調査は現時点では隔年で実施することにしております。このように継続的に調査を実施することにより、お取引先さまと協力して CSR のレベル向上を図り、サプライチェーンにおける社会的・環境的要素のリスク低減を図っていきます。

設問項目は次のとおりです。

1. コーポレートガバナンス
2. 人権
3. 労働
4. 環境
5. 公正な企業活動
6. 品質・安全性
7. 情報セキュリティ
8. サプライチェーン
9. 地域社会との共生

調査フォーマットとしては、当社が賛同している GCNJ（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン）が開示している持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ第 9 弾

目次	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行	GRI スタンダード対照表
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	国連グローバルコンパクト対照表

「CSR 調達 セルフ・アセスメント・ツール・セット」を使用しております。これは CSR 調達調査の項目が当社独自の視点で偏りが出ないようにすること、世の中の情勢や要望に沿った調査をおこなうこと等の考えによるものです。

今後も社会情勢や当社の状況を鑑みながら、定期的に CSR 調達アンケートを実施していきます。

紛争鉱物に関する考え方と取り組み

紛争鉱物についても、上記調達に関する方針に則り、社会の期待に応えるよう取り組みを進めています。

当社が原材料を調達しているお取引先さまにご協力をいただき調査したところ、紛争鉱物に該当するものは使用していないことを確認しています。

目次	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行	GRI スタンダード対照表
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	国連グローバルコンパクト対照表

公平・適切な情報発信

情報発信の考え方と体制

ゼオンは、社会全体および各ステークホルダーの皆様へゼオンの理念・姿勢・活動等を正確に理解していただくことにより、企業知名度の向上を図り、ゼオンに対する親しみ・信頼を得られるよう、広報活動を行っています。

広報委員会

広報委員会では、CSR 経営の観点から社内外への公開情報を審議しています。

情報開示

Web サイト

- 企業情報、IR 情報、製品情報、採用情報などの情報発信
(2021 年 4 月全面リニューアル)

広告・宣伝

ゼオンブランドの向上を目的として、地域に根差した広告・宣伝活動を進めています。

テレビ CM

- 地上波（放映地域：関東圏、富山県、福井県、岡山県、山口県、香川県）、BS（放映地域：国内全域）で放映中
- 衛星放送番組を通じて、東南アジア全域でアジア向けテレビ CM を放映中



新テレビ CM

新聞広告

2018 年より、『チャンス編』『もう一回編』にてシリーズ展開。



世界を変えるのは、
「もう一回」を、何回もできる人だ。

失敗に鍛えられた化学は強い。
他にはない独創的な技術も、どこにもマネできない製品も。
オンリーワンと呼ばれる強さは、数え切れない失敗からつくられる。
だからこそ、「もう一回」。
夢に妥協しない子供のように、今日も挑戦を続けよう。
世界を変えるソリューションを、世界中に届けるために。

挑戦の先に答えはある。

ZEON
日本ゼオン株式会社 www.zeon.co.jp



まだ世界で、誰も成功していない
というチャンス。

誰にもできないことが、自分にもできないとは限らない。
むしろチャンスだと考えてみる。だって、実現できれば世界初。
なにより、新しい化学には、見たこともない美顔を、
聞いたこともない夢を、生み出す力があるのだから。
さあ、眼の見せどころ。技術と可能性を信じて進もう。
世界を変えるソリューションを、世界中に届けるために。

挑戦の先に答えはある。

ZEON
日本ゼオン株式会社 www.zeon.co.jp

目次	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行	GRI スタンダード対照表
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	国連グローバルコンパクト対照表

株主とのコミュニケーション

株主との建設的な対話に関する方針

株主との対話はIR・SR担当部署が主管し、管理担当役員が統括します。IR・SR担当部署は、当社内の関係部門と適宜情報交換を行い、株主に対する正確かつ偏りのない情報提供を行います。

ゼオンは、四半期毎の投資家向け説明会の開催、日本ゼオンWebサイトにて開示する決算説明資料の充実、個人投資家向け会社説明会への参加など、個別面談以外の対話の手段の充実にも継続的に取り組みます。IR・SR室は、株主との対話にて寄せられた意見について適宜整理・分析を行い、代表取締役役に報告します。ゼオンは、インサイダー取引・適時開示等管理規程に基づき、未公表の重要事実の管理を徹底し、情報漏洩のないよう株主との対話を行います。

株主総会の実施状況

2020年6月26日（金）、本社会議室にて第95回定時株主総会を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、株主様に対し健康状態にかかわらず株主総会会場へのご来場差し控えをお願いしましたが、議題の内容を十分吟味いただいた上で書面またはインターネットで議決権行使できるよう、招集通知を開催日の約3週間前に発送しています。同時に株主総会の決議内容をWebサイトにも掲載しています。

そのほか、四半期毎の決算説明会の音声配信や年2回実施しているトップによる経営の現況についての説明動画を配信しています。



トップによる説明動画の配信

株主総会に関する情報はこちら

<http://www.zeon.co.jp/ir/stock/meeting.html>

決算説明会に関する情報はこちら

<http://www.zeon.co.jp/ir/financial/bs.html>

株主への情報発信

事業の状況、トピックス等をご紹介する冊子を、年2回、株主様あてにお送りしています。2020年12月発行の「第96期中間報告書」では、健康と福祉を実現するゼオンの製品群を特集し、手袋用合成ラテックス、マイクロ流路チップ試作受託サービス、医療系容器用シクロオレフィンポリマー（COP）などについて紹介しました。

今後も個人株主の皆様のニーズに合った誌面、より親しみやすい誌面を目指していきます。



第96期中間報告書

年度報告書・中間報告書はこちら

<http://www.zeon.co.jp/ir/library/businessreport.html>

利益配分

剰余金の配当については、株主の皆様へ安定的、継続的に配当していくことを基本としています。

また日本ゼオンは、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本としています。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会です。内部留保資金については、積極的な設備投資や独創的技術の開発、生産革新に活用していきます。

株価および配当金の推移に関する情報はこちら

<http://www.zeon.co.jp/ir/stock/dividend.html>